

子供安全QアンドA【教職員編】



学校で単独勤務時の不審者対応方法を教えてください。

基本的には単独での対応をしないようにしてください。そのために、すぐに連絡の取れる体制を確立しておきましょう。また、自身で110番通報をすることが難しいのであれば、誰かに通報を依頼するなど、確実に警察に通報するようにしましょう。



どういう状況が危険なのか知りたい。



声かけ事案等の多くは、夕方の下校時に発生しています。また、人通りの少ないところや見通しの悪いところなども警戒すべき場所ですが、どのような状況であっても危険性が絶対にはないとは言えませんので、防犯意識を持ち続けることが重要です。



子供を守るための秘策を知りたい。

秘策や特効薬といったものではありませんが、防犯教育により子供の対応能力を向上させるとともに、防犯の視点を持って日常生活を送る「ながら見守り」活動の普及など地域全体で子供を見守る体制を構築していくことが、子供の安全につながると考えています。





子供対象の事案として、どのような事例があるのか知りたい。



車に乗るよう声をかけられたり、お菓子をあげると誘われたり、突然腕を掴まれる、後ろから押されるなど様々な事案が発生しています。また、令和4年には実際に子供が車に連れ込まれる事案も発生しました。



刃物で襲われたときの対応方法を知りたい。

凶器の有無に関わらず、刺股や身近な物を利用して、「間合い」を取るようにしてください。また、不審者から目を離さないようにしてください。無理に制圧しようせず、警察が来るまでの時間、安全に逃げ切れるようにしましょう。



生徒が人質に取られた場合はどうしたら良いですか。

決して無理に奪還しようせず、警察に通報し、警察の指示に従ってください。また、不用意に不審者を刺激しないように注意してください。



こども110番のいえはどれくらいありますか。

令和5年末で、17,975件(前年対比+241件)です。市町村別の件数等については、学校を管轄する警察署にお尋ねください。





不審者がいれば対抗するという子供がいます。



大人に負けたくないと思っている子供に言葉だけで危険性を理解させることは困難かもしれません。そんな時は、大人が腕を子供に押さえさせた上で腕を動かしてみるなど、大人の力に対抗することは難しいことを教えてください。その際、力を入れすぎて子供に怪我をさせないように気を付けましょう。



子供がとっさの場面で声も出ず、石のように固まってしまったときの対応方法を教えてください。

声が出ないときは防犯ブザーを活用するなどしてください。声も出ず、動けもしないといった、完全に無防備な状態となってしまうまいよう、繰り返し防犯教育を実施するようお願いいたします。



個人情報を聞き出そうとする電話への対策は。

家族構成や職業、年齢などの個人情報を不正に入手するため、電話がかかってくる場合があります。子供には、電話で何か質問されれば「お家の人に代わります」などと答えるように教えましょう。また、近くに保護者が不在の時は、留守番電話設定にする、電話が鳴っても出ないなど、お家のルールを決めておくよう指導してください。

